

トークフリマ：『reconsider: 本当の自分』

トークフリマとは??手作り市やフリーマーケットのトークバージョン。その名の通り、小物などの販売ではなくトークのやりとりを行います。長机を挟んで出展者(ホスト)が対面するブース形式で、「サバイバル」をキーワードに対話を行いました。

「いま」そして「これから」の自分の人生に“不安”や“戸惑い”を抱いている人に、自分語りの対話の場を通じて、次につながる前向きなエッセンスを得られる場、安全な対話の場の中で、ホストと参加者ともに刺激を得られる場を目指しました。



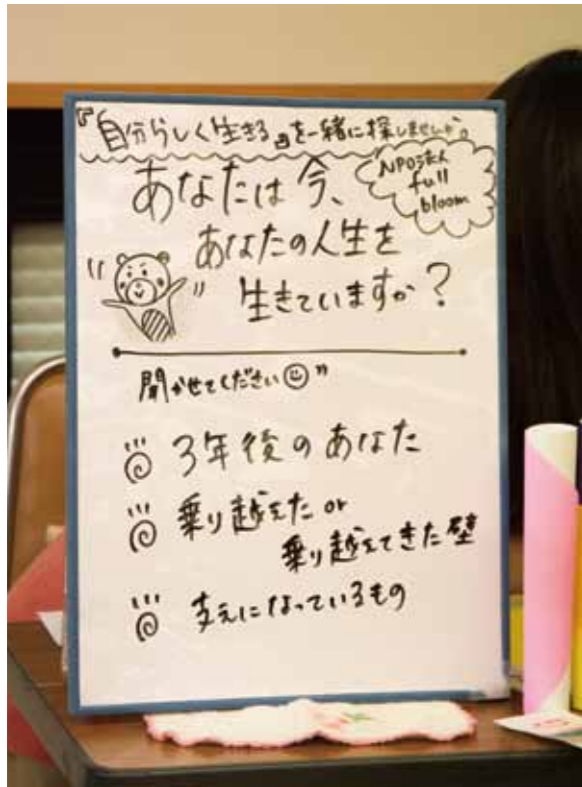
《実績報告》

- ・出展者：27ブース
- ・参加者数：153名(出展者・実行委員会メンバー含む)



カテゴリを決めました!

対話型の場をつくる。



～トークメニュー～

『サバイバル』というテーマで全体に共通性を持たせるため、あらかじめ以下のトークメニューを設定しました。出展者は、3～4つのメニューを選びトーク内容を考えて臨みます。参加者が、話して欲しいメニューを選ぶことで対話のスタートです。

- ① 取り組んでいるなかでの発見
- ② 活動しているなかでのモチベーション
- ③ あきらめたこと
- ④ 3年後の自分
- ⑤ ワクワクすること・楽しいこと
- ⑥ 乗り越えた、または乗り越えてきた壁
- ⑦ 支えになっているもの
- ⑧ その他(自由設定)



～トークフリマルール～

安心して話せる場にするために、対話の際のルールを、出展者・参加者の双方に周知しました。

- ① 最初に自己紹介をしましょう
- ② 人の話に耳を傾けましょう
- ③ しゃべりすぎに注意
- ④ 批判はしない
- ⑤ 話すときは「トーキングバトン」を持って
- ⑥ 聞かれたくない、話したくないときには「NGカード」が使えます



トークフリマの舞台となったのは、下京青少年活動センター 2階の4部屋。各ブースをまわってもらいやすくするため活動分野に基づいたカテゴリを実行委員会で決めました。どんな分野があるか、団体に来てほしいかなど各自で考え出しました。それを整理した結果…“外国”“恋愛”“子ども”“人間関係”“ボランティア”“夢(職業ややりたいこと)”の6個のカテゴリに決定!外国の部屋には万国旗、夢の部屋には様々な職業の写真を貼ったりなど、装飾も工夫を凝らしました。全てのカテゴリをまわるスタンプラリーも実施し、より多くのブースに足を運んでもらい楽しんでもらうことができました。



実行委員会の声

- ・大きなイベントを創り上げる過程を体験したい!学びたいと思い参加しました。広報や団体の招待、装飾など多岐にわたる準備が必要であるということ、実感をもって知ることができた。
- ・新たに交流の場が増えてセンターの方、去年の参加者さん、インターン生と仲良くなれてよかったです。
- ・3ヶ月ほど前から考え作ってきたイベントができて、来てくださった人にも楽しんでもらえてよかったです。
- ・それぞれが役割をもち部屋ごとに団体や装飾を考えたりしましたが、どのように情報共有をするのか、意見を出し合っていくのが難しかった。

参加者の声

- ・色々な方から仕事への心構えを教えてもらえた。
- ・自分らしさについて深く聞いてもらえて、今後につながりそうな発見がありました。
- ・悩み解決のヒントを得られて良かったです。
- ・様々な話が聞け、自分の人生を考える機会にもなり、参加して良かったと思いました。
- ・時間が短かった。もっと話を聞きたかった。
- ・お仕事の内容や価値観のやり取りがあり、ためになりました。
- ・出展者の考え方を感ずることができて良かったです。
- ・全てにおいて次につながりそうな出会いでした。